

関係機関が連携し、獣害対策を推進

湖北農業農村振興事務所農産普及課

【普及活動のねらい・対象】

湖北では 380 農村集落の内、183 集落で野生獣の被害を受けているため、関係機関と一体となり被害集落が主体的に対策を講じるように支援しています。

しかし、①被害集落の実態把握が十分にできていない、②役員交代等により継続して獣害対策に取り組むリーダーがない、③集落環境点検や点検後の集落ぐるみ対策が実施できていない、等の課題があります。これらの課題を解決するため、今年度は被害集落を対象に支援を行いました。

【普及活動の内容】

1) リーダー養成講座

湖北広域鳥獣被害防止対策協議会の協力により、集落ぐるみリーダー養成講座（基礎講座 1 回（三会場）、実践講座 3 回）を開催しました。

基礎講座では、獣害対策の基本、野生獣の効果的な防除技術の他、捕獲にかかる法令と実技を、

実践講座では、①防護柵の種類と効果的な使い方、②サル追い払いの具体的な方法、③集落環境点検の実際と対策プランの立て方に関する知識や技術を学んでいただきました。

2) 集落環境点検、集落ぐるみ対策の支援

集落環境点検は 17 集落、集落ぐるみ対策は 12 集落を支援し、集落ぐるみ対策では柿の木の伐採、サル追い払い隊の設置、防護柵の設置などが行われました。

3) 被害状況の整理と湖北獣害マップの作成

被害集落の実態を把握し、今後の指導資料として活用するため、被害状況調査報告、獣害防止対策集落環境基礎調査事業、獣害に強い集落づくり加速化事業での聴き取り調査で得た情報や両市から提供を受けた集落ごとの防護柵の設置状況等を整理し、田園振興課、森林整備事務所と共同で、被害額、野生獣の発生状況、捕獲数、対策の習熟度などを記載した GIS による湖北獣害マップを作成しました。

【普及活動の成果】

上記講座では基礎 1 回と実践 2 回以上を受講した 60 名に修了書を交付しました。

また、集落環境点検後には、共同防護柵の設置（8 集落）、対策プランの樹立（6 集落）、不要果樹を伐採する集落があり、集落ぐるみでの対策につながりました。これらの活動実践にあたっては、講座を修了したリーダーが大きな役割を果たしており、リーダーの養成が獣害防止対策に重要であることが再認識されました。



防護柵の設置方法の実演